

大きくなって戻ってきこね
〜サクラマス稚魚放流式〜



小雨降る4月24日、荒川漁業協同組合（須貝金義組合長）と村が共催で実施しているサクラマス稚魚放流式が、荒川水辺プラザで行われ、村内保育園の年長児36人が参加しました。

放流の前に須貝組合長が、「サクラマスが元気に戻ってくるよう声を掛けて放流してください」とあいさつ。この日準備されたのは、昨秋採卵し同組合で育てられた体長10cmほどの稚魚約2万匹で、園



児たちは「大きくなって戻ってきてね」「元気で帰ってきてね」とバケツからゆっくりと川に放たれる稚魚の行方を追っていました。

その後、トラックに積んだ水槽から透明なホースを通り、稚魚が放たれる様子も見学。大量の稚魚が川へと旅立つ姿を興奮しながら見守りました。成魚となって荒川に戻ってくるのは約3年後。そのとき園児たちは小学3年生。大きくなったサクラマスと再会できる日が今から待ち遠しいですね。

緑の少年団入団式

～自然を大切にすることを～



緑の少年団の入団式が4月21日、村民会館会議室で行われ、新入団員11人が入団。総勢22名となりました。

式では、前期団長の奥野明飛さん（6年・下関）が、「大石ダムまつりや、なめこの駒打ち体験など楽しい行事ばかりですので、みんなで協力して楽しい緑の少年団にしていきましょう」と歓迎のあいさつを行いました。

式典後には、村民会館ピロティでなめこの駒打ち体験が行われ、金づちを初めて持つ団員もいましたが、見事に使いこなし、すべての駒打ちを無事終えることができました。秋のなめこ採りが楽しみです。

緑の少年団では、団員の中途入団も歓迎しています。自然あふれる村で緑と親しみ、守り育てる活動を体験しましょう。

相手の気持ちを考える人に

せきともクラブ開校式

4月17日、川北ふれあい自然の家でせきともクラブ（放課後子ども教室）の開校式が行われ、児童やサポーターなど約100人が参加しました。

式では、児童を代表して松田剛さん（6年・下関）が「せきともクラブには、3つの約束があります。一つ目は、あいさつは元気に人の話はしっかり聞く。二つ目は、後始末は最後までやる。三つ目は、相手の気持ちになって考えるです。約束を守って楽しく過ごしましょう」と誓いの言葉を述べました。

式終了後には、サポーター代表の平田大六さんが、周辺にある縄文時代の遺跡散策に子どもたちを連れて行きました。身近なところに昔の人が使っていた道具があることにみんな興味津々。「これは？これは？」と本物かどうか確認しようと、平田さんの周りは子どもたちでいっぱいでした。





田植え・梓つけ作業を体験 関川中学校で稲作学習

5月16日、関川中学校の全校生徒129人が近くの学校田で田植え作業を体験しました。

これは、村の基幹産業である稲作学習を通して、米作りに取り組む人たちの思いを知ってもらうことを目的に行われ今年で3年目です。

J Aにいがた岩船の職員や地域のボランティアから「第1関節の深さまで」「3、4本の指で苗を持って」と指導を受け、冷たい土の感触に声をあげながら約20アールにもち米の苗をていねいに植えていました。

収穫したもち米は、料理して地域の人へのおもてなしや村の農林業まつりで販売される予定です。

生徒たちは、身近にある田植え作業を通して、ふるさとの豊かな自然を体感していました。

狂犬病予防注射を忘れずに!

村では県と県獣医師会と協力して、毎年5月に村内20の会場で集合注射を行っています。

生後91日以上の犬は、狂犬病予防法により、生涯1回の登録と毎年1回狂犬病予防注射を受けさせることが飼い主に義務付けられています。

各会場では、小型犬から大型犬までたくさんのワンちゃんが集まりました。注射への不安からか暴れたり、吠えたりする犬もいましたが、獣医の先生がうまく回り込んで注射をしていました。

村内には、現在246頭が登録されており、約183頭が集合注射を利用しています。



家庭犬のしつけ方教室を開催します

散歩中に引っ張る、犬が言うことを聞かない、やたらと吠えるなど困っていませんか?

日時：7月8日(日) 10:00~12:00

会場：新発田市ボランティアセンター
(新発田市本町4-16-83)

☆どなたでも無料で参加できます

青空広がる5月12日、関川中学校で「九の郷ウォーキング」が行われ、生徒や保護者など約200人が参加しました。

当日は朝8時30分に関川中学校をスタート。生徒会が「あいさつ運動」を提案。「あいさつの関川中」ののぼり旗を掲げながら温泉橋を渡って鉦打峠を越え、女川集落を回って高田、橋場、南赤谷を通る全長23kmの道のりを歩きました。



無事全員完歩達成! 中学校九の郷ウォーキング

始めは、意気揚々と笑顔で出発した生徒たちでしたが、鉦打峠の登りでは、額から汗が流れていました。途中、村上第一中学校の生徒もウォーキングで川北ふれあい自然の家まで歩いてきており、お互いに声を掛け合いながら、そして、友達と励まし合いながら、制限時間を前に全員が無事ゴール地点へ戻ってきました。

みなさん、大変お疲れさまでした。

